

令和5年度

事業年報



一般財団法人 茨城県メディカルセンター

ま え が き



日頃よりセンター事業の運営につきましては、特段のご理解、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5月に5類へと引き下げられたことから、受診控えも解消され、年間を通じて安定した事業を継続することができました。

総合健診事業では、一日人間ドック開始後初めて、計画目標である受診者数2万人の大台を達成し、最終的には20,470人の実績を残すことができました。また、女性健診においても、筑波大学の支援により安定した医師の確保が図れ、ドック同様、過去最高の実績となっております。

健康増進事業では、密を避けるため結果説明の省略を希望する受診者が多いことから、コロナ禍以降、減少が続いております。しかしながら、特定保健指導を含め、健康診断後のフォローアップの重要性を鑑み、次年度は組織体制を一部改編し、健康増進事業の抜本的な改革を進めてまいります。

産業保健事業では、JKAの補助を受けて新しい検診車が配備されたことにより、安心・安全に巡回健診が実施できるようになりました。実績としては、健康診断を受診される方の年齢が上昇傾向にあることから、一般健康診断から生活習慣病健診に移行するケースが増えており、反比例して一般健康診断が減少しております。

学校保健事業では、学校保健安全法に基づき、県内の公立学校のほか、私立学校、大学、各種専門学校の健康診断を計画どおり実施することができました。

聴覚事業については、茨城県の事業スキームが見直されたことで、委託事業（公益事業）と自主事業に分けて事業を継続しております。当センターの聴覚は、乳幼児に対する精密聴力検査を行える2医療機関のうちの一つであることから、その責務を引続き全うしてまいります。

視覚事業については、令和4年度をもって茨城県の委託事業が終了したため、令和5年度から令和7年度までの3年間で、通院患者を次の転院先に確実に繋げるよう、鋭意取り組んでおります。

今後も、設立母体である茨城県医師会との連携を強化しながら、健診施設の充実や検査精度の維持向上に努め、県民の皆さまの健康保持・増進を支援してまいりますので、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

ここに令和5年度事業年報を作成いたしましたので、ご高覧いただければ幸いです。

令和6年10月

一般財団法人 茨城県メディカルセンター
理事長 大場 正二

目 次

第1章 各事業の運営状況

事業の概要	1
1 自主事業実績	1
(1) 総合健診事業	1
(2) 健康増進事業	2
(3) 産業保健事業	2
(4) 学校保健事業	2
(5) 視覚事業	2
(6) 聴覚事業	2
2 委託事業実績	2
(1) 聴覚事業	2

I 総合健診事業

1 概 要	3
(1) 一日人間ドック	3
(2) 女性健診	3
(3) オプション検査	3
(4) 単独健診	3
(5) 受診者の状況	4
2 健診結果成績	7
(1) 健診結果成績	7
(2) 総合判定比	8
3 検査別成績	9
(1) 肥満	10
(2) 血圧	11
(3) 心電図	12
(4) 眼科	13
(5) 聴力	14
(6) 呼吸機能	15
(7) 胸部X線	16
(8) 胸部C T	17
(9) 上部消化管X線	18
(10) 上部消化管内視鏡	19
(11) 腹部超音波	20
(12) 肝機能	21
(13) 腎機能	22
(14) 血液学	23
(15) 糖代謝	24
(16) 脂質代謝	25
(17) 尿酸	26
(18) 血清学	27
(19) 尿検査	28
(20) 便潜血	29
(21) 肝炎	30
(22) P S A	31

23	A F P	32
24	C E A / C A 1 9 - 9	33
25	C A 1 2 5	34
26	マンモグラフィ	35
27	乳房超音波	36
28	子宮検診	37
29	H P V 検査	38
30	リウマチ	39
31	甲状腺機能検査	40
32	喀たん細胞診検査	41
33	心臓・血管ドック	42
34	胃がんリスク層別化検査（A B C 法）	43
35	骨粗しょう症検査	44
36	B N P	45
37	ビタミンD	46
38	亜鉛	47
39	動脈硬化	48
4	フォローアップ事業成績	49
(1)	精密検査受診実績	49
(2)	確定診断を受けた臓器別がん症例数	49

II 健康増進事業

1	概要	51
(1)	指導方法	51
(2)	特定保健指導	51
(3)	特定保健指導の対象者の選定と階層化	52
2	特定保健指導実績	53
(1)	保健指導者数	53
(2)	性別・年齢別受診者数	53
(3)	メタボリック判定	54
(4)	初回面談時の行動変容ステージ	54
(5)	修了者の体重変化	55
(6)	喫煙	55

III 産業保健事業

1	概要	57
(1)	一般健康診断	57
(2)	生活習慣病健診	57
(3)	特殊健康診断	57
(4)	ストレスチェック検査	57
2	各種健康診断の実績	58
(1)	一般健康診断	58
(2)	生活習慣病健診	58
(3)	特殊健康診断	58
(4)	ストレスチェック検査	58
3	一般健診及び生活習慣病健診結果成績	59

4	検査別成績	60
(1)	肥満	61
(2)	血圧	62
(3)	心電図	63
(4)	眼科	64
(5)	聴力	65
(6)	呼吸機能	66
(7)	胸部X線	67
(8)	上部消化管X線	68
(9)	腹部超音波	69
(10)	肝機能	70
(11)	腎機能	71
(12)	血液学	72
(13)	糖代謝	73
(14)	脂質代謝	74
(15)	尿酸	75
(16)	血清学	76
(17)	尿検査	77
(18)	便潜血	78
(19)	肝炎	79
(20)	P S A	80
(21)	A F P	81
(22)	C E A / C A 1 9 - 9	82
(23)	C A 1 2 5	83
(24)	リウマチ	84
(25)	甲状腺機能検査	85
(26)	喀たん細胞診検査	86
(27)	胃がんリスク層別化検査 (A B C 法)	87
(28)	B N P	88
5	特殊健康診断結果成績	89
(1)	有機溶剤	89
(2)	電離放射線	89
(3)	鉛	89
(4)	じん肺	89
(5)	石綿	90
(6)	特定化学物質	90
(7)	有害光線	90
(8)	振動工具	90
(9)	騒音	91
(10)	情報機器作業	91
IV 学校保健事業		
1	概要	93
(1)	検査項目と対象者	93
2	各種検診実績	94
(1)	受診者数	94
(2)	幼児・児童・生徒・学生成績	95

V 視覚事業

1 概要	97
(1) 視覚センターにおける視覚精密検査	97
(2) 年度別事業実績の推移	97
2 事業実績の内容	97

VI 聴覚事業

1 概要	99
(1) 業務の内容	99
(2) 実績	100
(3) 受診者の居住分布	100
2 業務別の様態	102
(1) 診断の部（実人数）	102
(2) (リ) ハビリテーションの部	107
(3) 管理の部	110

第2章 概要

1 法人の運営組織図	113
2 役員、評議員、顧問、相談役、参与、名誉所長、委員会名簿	114
3 職員の配置状況	115
4 施設の概要	116
5 センターの沿革	120
法人のあゆみ	120
6 主な医用機器及びコンピュータ機器	126
(1) 総合健診部	126
(2) 健診普及部	127
(3) 臨床検査業務／検査室関係	128
(4) 視覚検診／聴覚検診関係	129
7 学会及び研修会	131

第3章 業績目録

1 学会・研究発表	133
2 研修会・講習会	133